

- 1 日 時 令和元年 9 月 12 日（木）
- 2 学 年 1 年 1 組 19 名（男子 9 名 女子 10 名） Jump コース
- 3 単元名 PROGRAM 6 由紀のイギリス旅行（SUNSHINE ENGLISH COURSE 1）

4 単元について

単 元 観	<p>本単元では、新学習指導要領の（3）話すこと [やり取り]「ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」に基づき、自分自身や興味のある事柄など、身の回りのことで生徒が共通して関心をもっていることを扱うこととしている。相手が紹介したい人などについて、情報をより詳しく得るために、対話を継続することをねらいとする。やり取りを通して相手からより多くの情報を引き出すだけでなく、1つのトピックについてより詳しく情報を得るために、対話を継続することができるようなタスクを設定する。</p>																										
生 徒 観	<p>本学級の生徒は習熟度別クラスの発展コースである。1学期からやり取りを通じた言語活動を行う中で、学習した内容を使って英語でコミュニケーションを積極的に取ろうとする生徒が増えている。</p> <p>既習表現を用いて2分程度会話を続けるなどのやり取りは概ねできているが、1つのトピックに対して更に質問をしたり関連する情報を付け加えたりする等、やり取りの「質」を高めることには課題がある。幅広く様々な情報を手に入れることだけでなく、一つのトピックについてやり取りを深めさせるようなコミュニケーション力を身に付けさせたい。</p> <p>以下の表は、英語学習に関する意識調査による肯定的評価の割合を示したものである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">質 問 項 目</th> <th style="text-align: center;">6 月</th> <th style="text-align: center;">9 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>英語の勉強は好きです。</td> <td style="text-align: center;">91.3%</td> <td style="text-align: center;">90.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>英語の授業はよく分かります。</td> <td style="text-align: center;">88.4%</td> <td style="text-align: center;">88.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。</td> <td style="text-align: center;">85.7%</td> <td style="text-align: center;">83.1%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。</td> <td style="text-align: center;">86.2%</td> <td style="text-align: center;">84.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。</td> <td style="text-align: center;">84.9%</td> <td style="text-align: center;">85.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の結果から、英語の学習に対する意欲に大きな変化はない。しかし、長期休暇明けなので、1学期の学習を思い出させるような言語活動を意図的に行う必要がある。</p>				質 問 項 目	6 月	9 月	1	英語の勉強は好きです。	91.3%	90.8%	2	英語の授業はよく分かります。	88.4%	88.5%	3	英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。	85.7%	83.1%	4	英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。	86.2%	84.8%	5	分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。	84.9%	85.4%
	質 問 項 目	6 月	9 月																								
1	英語の勉強は好きです。	91.3%	90.8%																								
2	英語の授業はよく分かります。	88.4%	88.5%																								
3	英語を使って相手とやり取りをすることは楽しいです。	85.7%	83.1%																								
4	英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを話している。	86.2%	84.8%																								
5	分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしている。	84.9%	85.4%																								
指 導 観	<p>本単元の目標を達成し、課題を解決するために、次の3点を重点的に指導する。</p> <p>① 教科書や普段のやり取りを通して、一つの話題について質問したり会話を続けたりするために必要な、<u>基礎的・基本的な知識の定着</u>を図る。</p> <p>② 幅広く情報を得る場合と、一つの話題について深く情報を得る場合の質問や反応の仕方の違いに気付かせ、目的に応じて使い分けができる「<u>表現力</u>」を身に付けさせる。</p> <p>③ 一つのトピックについてやり取りが深まらないなど、上手くいかない場面が生じた場合は、教師が改善策や解を与えるのではなく、「<u>庄原中授業プロセス</u>」を用いて、生徒自身がより適した表現方法を考えていけるような<u>主体的な学びの場面や機会</u>を設け「<u>深い学び</u>」に導く。</p>																										
	<p>CAN-DO リストの学習到達目標 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話すこと（やり取り）</span></p> <p>【1 学年（9 月末）】身近な人と家族、友人、学校などに関する話題について、基本的な言い回しを用いて、簡単な質疑応答をすることができる。</p>																										

## 5 単元の目標

- 【コ】間違いを恐れずに、今まで学習した表現を用いて、積極的にやり取りを続けようとしている。
- 【表】相手が紹介したい人などについて、詳しく情報を得るための質問をする。
- 【知】一般動詞の三人称単数を用いた文構造を理解する。

## 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れずに、積極的にやり取りを続けようとしている。	相手が紹介したい人などについて詳しく情報を得るための質問をすることができる。	/	一般動詞の三人称単数形を用いた文の文構造を理解している。

## 7 本校で身に付けさせたい資質・能力

庄中 F I N D	表現力	行動力	協働する力	貢献（自己肯定感）
課題を見付け、ゴールに向けて探究しようとする。	その場に応じて適切な表現を判断できる学びを目指す。	積極的に相手のことを知ろうとする態度を目指す。	他者と交流し、より良い解を導き出す姿勢を目指す。	互いを肯定的に受け止め、より良い人間関係を形成する態度を目指す。

## 8 パフォーマンステスト（単元のゴール）

【課題】 コミュニケーションの目的・場面・状況	あなたは英語新聞の記者です。今度発行する英語新聞でALTのグレンディ先生の家族について紹介する文章を書くことになりました。グレンディ先生の話す内容についてさらに詳しくたずねるためにやり取りをしましょう。
評価の観点	外国語表現の能力【話すこと（やり取り）】
A	① He, She や三人称単数などを適切に用いながら、やり取りをしている。 ② 発話に応じ、自分の考えを付け加えながら、詳しく情報を得るための質問をしている。 S: Hello, Ms. Glendy. I will write an English Newspaper. Can I interview you, OK? G: OK. S: <u>How many family members do you have?</u> G: I have four. My father, my mother, my sister and me. S: Oh, I have a sister too. <u>What's her name? What does she like?</u> G: She is Michael. She likes music. S: I see. <u>Does she play the piano?</u> G: No, she doesn't. But she can sing well. S: <u>What song does she like?</u> G: She likes One Direction.
B	① He, She や三人称単数などを会話に支障がない程度に用いながら、やり取りをしている。 ② 発話に応じながら、詳しく情報を得るための質問をしている。 S: Hello, Ms. Glendy. I want to interview you. G: OK. S: <u>How many family members do you have?</u> G: I have four. My father, my mother, my sister and me. S: I see. Does he play sports? G: He plays baseball. S: Oh, baseball. <u>What team does he like?</u> G: He likes Angels.
C	話す内容に応じた質問ができていない。

9 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

- ①今まで学習した表現を用いて紹介したり，その場で受けた質問を答えたりする。
- ②関連する言語材料

We Can! 2	We Can! 1,2 → 中学校	中学校
≪Unit3 He is famous. She is great.≫ Who is this? / He, She is famous, great.	Who is he / she? He, She is famous, great.に加え，一般動詞を用いながら詳しく質問する。	What does he like? What sports does she play? She plays tennis. など

10 単元計画 (全8時間)

時	目標・課題 (◆)・主なやり取り等 (*)・予想される振り返り (○)	評価規準・評価方法
1	<p>◆ (イチロー選手の写真を見せながら)「この前，グレンディ先生と好きなスポーツ選手の話になりました。そこでプロ野球のイチロー選手と鈴木誠也選手を英語で紹介したいのだけど，今まで習った表現を使ってどのように紹介したらよいでしょうか。」</p> <p>* 教師が示したイチロー選手と鈴木選手の情報を基に，やり取りをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 S 1 : Hello. He is Ichiro. He is 45 years old. He <u>play</u> baseball.                  Do you like Ichiro?                  S 2 : Yes. I like Suzuki Seiya too. He is a professional baseball player. He <u>like</u> ramen.             </div> <p>* “He <u>play</u>” “He <u>like</u>” の言い方が誤りだということに気付かせ，三人称単数の文構造を理解させる。</p> <p>* 三人称単数の文構造を理解した上で，もう一度イチロー選手と鈴木選手のやり取りに再挑戦させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 S 1 : Hello. He is Ichiro. He is 45 years old. He <u>plays</u> baseball.                  Do you like Ichiro?                  S 2 : Yes. I like Suzuki Seiya too. He is a professional baseball player. He <u>likes</u> ramen. He <u>eats</u> ramen every day.             </div> <p>* イチロー選手と鈴木選手の情報を更に付け加えてやり取りをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 S 1 : Hello. He is Ichiro. He is 45 years old. He <u>plays</u> baseball.                  He <u>don't play</u> soccer.                  S 2 : Yes. I like Suzuki Seiya too. He is a professional baseball player. He <u>likes</u> ramen. But he <u>don't like</u> vegetables.             </div> <p>* “He <u>don't play</u>” “He <u>don't like</u>” の言い方が誤りだということに気付かせ，三人称単数の否定文や疑問文の文構造を理解させる。</p> <p>* 三人称単数の文構造を理解した上で，もう一度イチロー選手と鈴木選手のやり取りに再挑戦させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 S 1 : Hello. He is Ichiro. He is 45 years old. He <u>plays</u> baseball.                  He <u>doesn't play</u> soccer.                  S 2 : Yes. I like Suzuki Seiya too. He is a professional baseball player. He <u>likes</u> ramen. But he <u>doesn't like</u> vegetables.             </div> <p>○ 今まで学習したことでは，意味は通じてても文としては間違いだということに気づいた。主語が He のときは，一般動詞に s,es や doesn't を使うことが分かった。</p>	<p>行動観察 (ア) 後日ペーパーテスト (エ)</p>

2	<p style="text-align: center;">◆教科書の内容を通して、やり取りの幅を増やす。</p> <p>*教科書本文の内容についてインタラクションを通して確認する。 *教科書の本文を活用したやり取りを行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S 1 : Hello. I have a question. Is he a Sherlock Holmes fan? S 2 : Yes, he is. How about you? Are you a Sherlock Holmes fan, too? S 1 : Sorry, no I'm not. S 2 : <u>Does</u> Sherlock Holmes live on Baker Street? S 1 : No, he doesn't.</p> </div> <p>*教科書の内容からどのような質問をしたのかを全体で共有する。 *良い質問や反応などを行っている生徒がいたら、取り上げて何が良かったのかなどに気付かせる。 *全体共有を踏まえて、ペアを変えてもう一度やり取りを行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S 1 : Hello. I have a question. S 2 : Is Sherlock Holmes smart? S 1 : Yes, he is very smart. Do you know Dr. Watson? S 2 : Yes. He helps Sherlock Holmes. S 1 : Do you know Conan Doyle? S 2 : I know only the name. I know Edogawa Conan. S 1 : I like detective Conan. How about you? S 2 : Me too.</p> </div> <p>*机間指導を行いながら、be 動詞と一般動詞の質問の仕方など、誤りがあればやり取りを止め、何が違うのかに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○教科書の内容を使ってやり取りをするのは初めてだったので、どのような内容でやり取りをすればよいのか、最初は難しかった。でも、相手の様子などを聞くときは、DoesではなくIsを使って質問すればよいことが分かった。</p> </div>	<p>行動観察 (ア) 授業ノート (エ)</p>
3	<p style="text-align: center;">◆今まで学習した教科書の内容について、幅広く情報を得るための方法を考える。</p> <p>*PROGRAM 3～5の内容を活用したやり取りを行うために、教師⇄生徒のやり取りを行い、やり取りのイメージをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Hello. Do you like Indian food? S : Yes, I like curry and rice. T : Oh, me too. I like biryani too. Do you eat biryani? S : No, I don't. But I know Biryani is like cha-han in the textbook. T : Yes! In the textbook, does Amit cook biryani? S : Yes, he does.</p> </div> <p>*幅広く情報を得るためにやり取りを行うことを再度確認する。 *良い質問や反応などを行っているペアがいたら、取り上げて何が良かったのかなどに気付かせる。 *全体共有を踏まえて、ペアを変えてもう一度やり取りを行わせる。 *次時に向けて、ペアのやり取りをICT機器で撮影する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○幅広く情報を得るためにやり取りを続けるためには、相手の発話に応じた質問をしないと続けること難しいことがわかった。次は好きな物などについて、詳しく聞くための質問をしてみたいと思う。</p> </div>	<p>行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)</p>
4	<p style="text-align: center;">◆一つの話題についてより詳しく情報を得るための方法を考える。</p>	<p>行動観察 (ア)</p>

	<p>*前時で撮影したそれぞれのやり取りを見る。</p> <p>*やり取りの中で一つ話題を選択させ、その話題についてより詳しく情報を得るためにやり取りを行う方法を考えさせる。</p> <p>*考えた方法でやり取りをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1 : Hello. Do you like Indian food?  S2 : Yes, I like curry and rice.  S1 : Oh, me too. What kind of curry and rice do you like?  S2 : I like beef curry.  S1 : I see. Why?  S2 : Because I like beef very much.</p> </div> <p>*上手くいかない場面や表現があったら、全体で共有し、最もよいと思う表現を考えさせる。</p> <p>*最もよいと考えられる表現を再度挑戦させる。</p> <p>*良い質問や反応などを行っているペアがいたら、取り上げて何が良かったのか気付かせる。</p> <p>*全体共有を踏まえて、ペアを変えてもう一度やり取りを行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○一つの話題について情報を得るために、Do you など Yes, No で答える質問では詳しい情報が手に入れられないことが分かった。次は、What や How many などの表現を使って質問してみたいと思う。</p> </div>	<p>後日パフォーマンステスト (イ)</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆紹介したい人について情報を幅広く手に入れるために、やり取りをする。</p> </div> <p>*今まで学習した知識や幅広く情報を手に入れる手法を用いて、自分の紹介したい人を伝えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1 : Hello. Who is he?  S2 : He is Mr. Tabuchi. He is 26 years old.  S1 : I see. What food does he like?  S2 : He likes curry and rice.  S1 : Oh, me too. Where is he from?  S2 : He is from Miyoshi. He likes baseball. Do you like baseball?  S1 : Yes, I do.  S2 : I see. He likes animals too.</p> </div> <p>*上手くいかない場面や表現があったら、全体で共有し、最もよいと思う表現を考えさせる。</p> <p>*最もよいと考えられる表現を再度挑戦させる。</p> <p>*良い質問や反応などを行っているペアがいたら、取り上げて何が良かったのか気付かせる。</p> <p>*全体共有を踏まえて、ペアを変えてもう一度やり取りを行わせる。</p> <p>*やり取りで手に入れた情報を、マッピングさせる。</p> <p>*マッピングした内容から、次時でより詳しく聞きたい項目を決めさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○紹介したい人について情報を多く集めるために、前回は使えなかった what などの質問をした。田淵先生はカレーが好きだということが分かり、僕もカレーが好きなので、その話題について詳しく聞きたいと思った。</p> </div>	<p>行動観察 (ア)  後日パフォーマンステスト (イ)</p>
6 (本時)	<p>本時の学習展開を参照</p>	<p>後日パフォーマンステスト (イ)</p>

7	◆紹介したい人について読み手に詳しく情報を伝える。	
	*前時で手に入れた情報について、ペアでリテリングをさせる。	
	<p>【予想されるリテリング】</p> <p>This is Mr. Tabuchi. He is 26 years old. He likes curry and rice. <b>He likes seafood curry very much.</b> But he doesn't like tomatoes. Of course he doesn't like tomatoes curry. He likes animals. He likes cats. He has a white cat. Her name is Yuki.</p>	
	*英語新聞の原稿を完成させる。	ワークシート (エ)
後日	<p>*パフォーマンステストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別の話題でやり取りをし、内容及び言語使用について見取る。</li> </ul> <p>*本単元で紹介した人は、「My Project2 人を紹介しよう」の単元で活用し、「書くこと」にフォーカスを置くことを生徒に伝える。</p>	<p>スピーキングテスト (イ)</p> <p>ペーパーテスト (エ)</p>

## 11 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 相手からより詳しく情報を手に入れるために、どのような質問をすれば良いのか考え、やり取りをする。

### (2) 本時の評価規準

- 間違いを恐れずに、相手から情報を引き出すためにやり取りを続けようとしている。 (ア)
- 相手の発話に応じて更に詳しくたずねるための質問をすることができる。 (イ)

### (3) 準備物

ワークシート, 電子黒板, iPad

### (4) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10分	<p>1 &lt;&lt; Small Talk &gt;&gt; (ペア)</p> <p>・学習した内容を用いた small talk をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>Small talk (小学校との関連)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のトピックの中から1つ選択し、様々な内容のやり取りをさせる。</li> <li>・共通する内容や興味のある内容など、詳しく知りたいことについてやり取りをさせることでやり取りの質を高めさせる。</li> <li>・Small talk でどのような工夫をしたのかを考えさせ、全体で交流させる。</li> <li>●困っている生徒がいる場合は、机間指導を行い、ヒントを与える。</li> </ul>	
30分	<p>2 &lt;&lt; めあての確認 &gt;&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想されるやり取り例】</p> <p>S1 : Hello. How are you? S2 : Hello. I'm good. And you? S1 : I'm happy. What do you like? S2 : I like sports and music. S1 : Oh, sports! Me too. What sports do you like? S2 : I like soccer. I play soccer. How about you? S1 : I play tennis. It's fun.</p> </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手からより詳しく情報を手に入れるためにはどのような質問をすれば良いのか考えながら、やり取りをすることができる。</p> </div>		

	3 《 Activity 》 (ペア)		
<p><b>【課題】</b>          あなたは庄原英語新聞の記者です。今回、新聞の作成に向け、クラスメイトの「紹介したい人」についてできるだけ詳しく情報を手に入れるために、やり取りをしましょう。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介したい人の情報を伝える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で記入したメモで、相手に更に聞きたいことについてやり取りをさせる。</li> </ul>	行動観察 (ア) 後日パフォーマンステスト (イ)
<p><b>【予想されるやり取り例】</b>          S1 : Hello. I have a question.          S2 : OK.          S1 : What sports does he play?          S2 : He plays baseball.          S1 : I see. ポジションがどこか言いたいけど、上手く言えないから単語とジェスチャーで説明。          S1 : He is a catcher. By the way, What animal does he like?          S2 : He likes cats.          S1 : Does he have cats?          S2 : Yes. He has a cat.          S1 : What color?          S2 : White.</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初から助言はせず、まずは生徒に挑戦させる。</li> <li>・困ったことや疑問などがあれば、生徒自身に考えさせる。</li> <li>・良い解決策が出ない場合は、教師がアドバイスをを行い、思考を深めさせる (やり取りを深めさせる)。</li> <li>・思考したことを再挑戦させ、表現の幅を広げさせる。</li> <li>・教師が肯定的な評価を行う。</li> <li>●やり取りに困っている生徒がいる場合は、机間指導を行いながらヒントとなる情報を与えるなどする。</li> <li>・やり取り後に得た情報を整理させる。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">庄原中授業プロセス</div>			
<p><b>【1回目のやり取りが終わった後】</b>          T : Do you have any questions or problems? Please raise your hand.          (S1 が手を挙げる)          T : S1 Please.          S1 : 野球をしていて、ポジションが何か聞きたかったけど、何て言えば良いか分からなかったです。          T : OK. Let's share your ideas.          S2 : What position が使えると思います。          T : Ah, I see. Good idea. 確かに使えるね。S1 さん。やり取りしている人について聞きたいの？ 紹介している人のことについて聞きたいの？          S1 : 紹介している人のことについてです。          T : じゃあ、What position にもう少し付け加えてみようよ。          S3 : What position does he play? とか？          T : That's a good idea. Do you have any ideas?          S4 : What position is he? も使える？          T : I see. 確かにそれも使えるね！ OK. Let's try again.</p>			
10分	4 《まとめと振り返り》 (全体) <b>振り返り①</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに対する振り返りをする。</li> </ul> <b>振り返り②</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時への学習の見通しをもった振り返りをする。</li> </ul>	<p><b>【期待される生徒の振り返り①】</b>          What curry and rice does he like? を使って質問をした。より詳しく情報を得るためには、相手の答えたことについて更に質問をするとよいと思いました。</p> <p><b>【期待される生徒の振り返り②】</b>          What○○does～?の質問が多かったので、How many～?の質問も次はしてみたいと思う。Can で聞くときはなぜ一般動詞に s,es が付かないのだろうと思った。</p>	